

# ゆめサロン

## 便り

令和 6年  
2月 26日  
No.545

皆様こんにちは



お久しぶりです。

気がついてみればもう二月もあと僅か、もうじき三月ですね。秋の終わりから、たくさんのことがありすぎてすっかり失礼をしてしまいました。

今朝、フェイスブックを開いて落の臺が花になっていいるどなたかの投稿を拝見して地球が回ったことを実感しました。大きいですね。夫の手術などで体が弱ったのか今度は腰が痛くて整形外科を渡りあるいたり病院に行ったりで本来の癌はなおったのに第三腰椎がひびがいつているとのこと、これまた安静を指示され故郷に帰ることもできなくて落ち込みました。もうじき三月ということを実感し心を入れ

かえてサロン便りに助けられています。どうぞ宜しくお願いします。

鳴たち



毎年川にカモが来るのを楽しみにしていた私はこちら倉敷にきのがうれしくていつもみとれていきます。二十羽くらいの集団が幾つもあるのです。私がいともびくともしません。暫く見とれて写真を撮ったりします。そんなある日夢を見ました。

買った物の中に、おつゆに入れたのを全部撒いてやりました。すると鳴たちが集団で襲ってきたのですが夢ですから仕方ありません。鳴はそんなものはたべないかもしれません。なにもわからないまま今日も鳴を見て通ります。



今日は

月曜日だった。



私の生活は今、お付きの者のような生活です。お医者様が夫を安静にさせるようにいわれたのですが、私にも自由が欲しくて、夫が寝た間に出かけることにしました。とはいっても行くところはありませぬ。そうだと美容院！と思ひ、まず鳴の傍を通っていつもの店に買い物に行きました。白鷺もいます。真つ黒な鶺鴒もいます。みんな黙っています。今頃夫はよく寝ているだろう。と思ひ暫く鳥たちを見ていました。すると雨がぽつぽつ降って来ました。干してきた洗濯物が気になります。仕方なくいったん買い物済ませて帰りました。鳥たちは(この婆さんは今日は早く帰るんだな)というような顔で見えています。先ほどまで青かった空は暗く曇っていました。帰ってみると夫は起きていました。うる

さいのがないからテレビでも見ようと思ったのでしよう。

「うちかえったのではないよ今美容院に行くけど雨が降るといけんから洗濯物を入れに帰った」というと

「予約したの？」  
「予約したのでなくていい」というので予約はしなくていいんよという

「今日月曜日だがやってくれるの？」といわれてがーん。それから私は又、可愛そうな婆さんになりました。早くなおつてくれないと帰ることができない自由のない婆さんのままです。

からず



私が歩いていると空を指さしては笑う奥さんがおられました。この人何言いたいんだろうかと思っていると逃げないなあといわれました。話を聞くと指さしたらカラスが逃げると教えたくださる方がいるがにげないということでした。今日その方から椎茸をいただきました。